

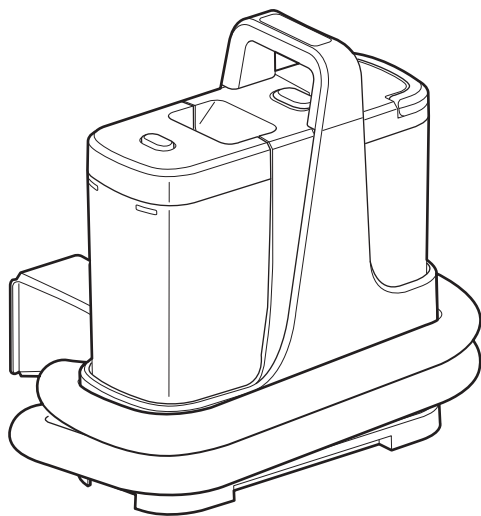
取扱説明書

AQUA

カーペットクリーナー

家庭用（業務用としては使用しないでください）

品番 AQC-CV1B



もくじ

安全上のご注意	2~4
使用上のお願い	5
各部のなまえ	6
ご使用前の準備	7
使いかた	8~13
水の捨てかた	14~15
お手入れ	16~19
故障かな？と思ったとき	20~21
仕様	22
保証とアフターサービス	22
お客さまご相談窓口	23
保証書	裏表紙

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付
（裏表紙）

日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書の記載内容は変更になる場合があります。
最新版は本体底面にある製品ラベルの二次元コードを読み取りご確認ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

■表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

■図記号の説明

 危険	「死亡、または重傷を負う可能性が高い内容」を示します。	 「危険」「警告」「注意」を促すことを示します。
 警告	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	 してはいけないこと「禁止」を示します。
 注意	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。	 しなければならないこと「指示」を示します。

警告



指示

●異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）

異常・故障例

- ・電源ボタンを押しても運転しない。
- ・電源プラグやコードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・運転中、ときどき止まる。
- ・運転中、異常な音がする。
- ・本体が変形していたり、異常に熱い。
- ・こげくさい臭いがする。
- ・部品が破損している。

すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にて点検・修理をご依頼ください。

●本製品は安全に使用できる環境下かつ安全な使いかたと危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する

（けが・やけど・感電の原因）

特にお子様が遊ぶことがないようにご注意ください。



禁止

●電源コードを傷付けない

（火災・感電・ショートの原因）

- ・加工しない
- ・熱器具に近づけない
- ・引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない



禁止

●電源コードを束ねて通電しない

（火災・やけど・故障の原因）

●電源プラグや電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

（火災・感電・けが・ショートの原因）

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

もしも電源コードに破損がある場合は、すぐにお買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。修理は必ず資格を持った人が行うこと。

警告



指示

- 電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する
(延長コードは使用しない)
(火災・感電・故障の原因)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(感電や発熱による火災の原因)



指示

- 使用時はアースを取り付ける
(故障や漏電の原因)
- 電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る
(ホコリがたまると、湿気などで、絶縁不良による火災の原因となります)



指示

- お手入れをするとき、点検をするときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)



禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電・けがの原因)



禁止

- 幼児の手の届くところには置かない
(事故・感電・けがの原因)
- 高温の場所(火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)やホコリの多い場所、油煙の当たる場所で使用・保管しない
(発熱・発煙・破裂・発火・故障の原因)
- 水洗いや、風呂場・屋外では使用しない(水洗いできる部品を除く)
(ショート・感電・故障の原因)
- 浴室の近くなど湿気の多いところや、水にぬれる場所で使用しない
(感電・発火・異常発熱・故障の原因)
- 可燃性の液体・ガス・粉塵のある場所で使用しない
(発火・爆発の原因)



禁止

- 次のようなものは、絶対に吸わない
(火災・感電の原因)
 - ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉じん
 - ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のものや、薬品などの液体
 - ・たばこの吸いから、灰などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生する火花を含む粉じん
 - ・石こう、セメントなどの粉じん
 - ・鉄粉、カーボンなどの可燃性、導電性粉じん
 - ・ガラス、ピン、針、つまようじなどの鋭利なもの
- 感染症の疑いのある汚れやほこり、吐しゃ物などを吸引しない
(感染症の原因)



禁止

- 運転中は本体の吸引口、排気口には触れない
(けがの原因)
特にお子様にはご注意ください。



禁止

- 回収タンクを取り付けずに運転しない
(けがの原因)



禁止

- 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
(火災・感電・けがの原因)
修理は、お買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。



禁止

- 本体の排気口やすき間に指や金属物・異物を入れない
(感電・けが・故障の原因)
- 本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしない
(感電・発熱・火災・故障の原因)

注意



禁止

- 電源プラグに液体を付着させない
(感電・ショート・過熱による変形・発火・故障の原因)



指示

- 長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による火災・感電の原因)
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く
(破損・故障の原因)



禁止

- 排気口を手やビニールなどで密封しない
(過熱による本体の変形・発火・故障の原因)



指示

- スチームは高温のため手や体にかからないように注意する
(けが・やけど・事故の原因)



禁止

- 火気に近づけない
(本体が変形し、ショート・発火・故障の原因)



禁止

- 人やペットに向けて使用しない
(けが・事故の原因)



指示

- 本体を持ち上げるときや持ち運ぶときは、必ずハンドルを持つ
(落下による故障の原因)



禁止

- 家電製品や電子部品に水やスチームをかけない
(故障の原因)



禁止

- 子供や補助を必要とする人だけで使わせない
体調悪化・健康障害の原因になります。
操作できる人が必ず付き添ってください。

使用上のお願い

本製品を快適、安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

使いかたについて

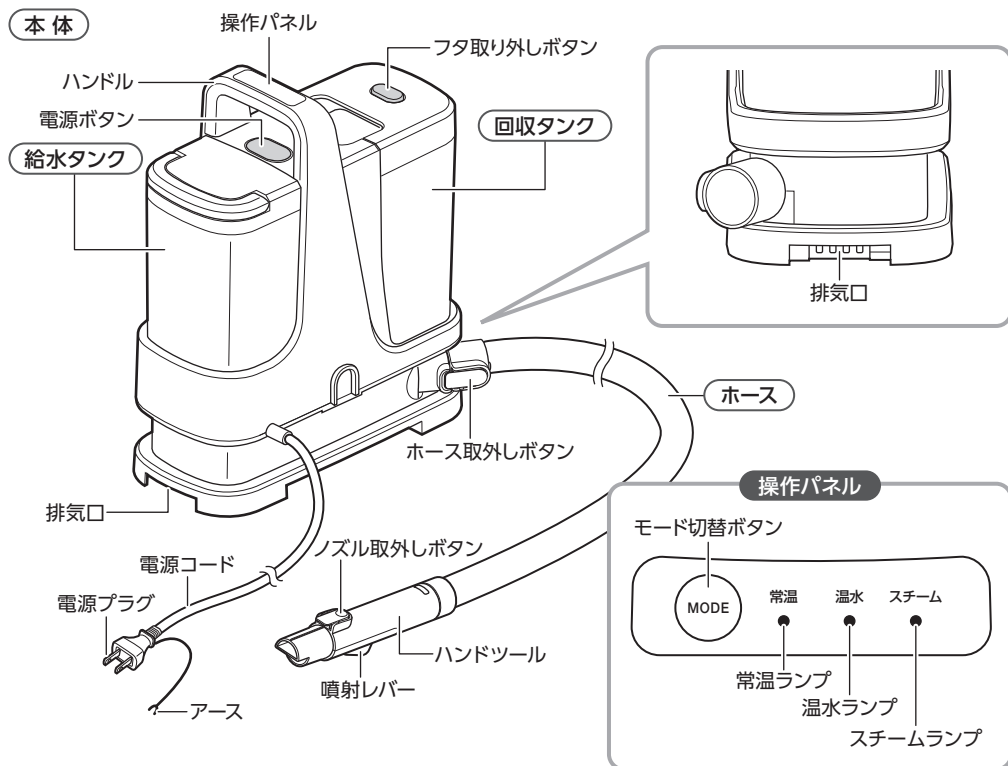
- ご使用中に本体があたたかくなりますが、制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。異常ではありません。
- 給水タンクには60℃より高温の水を投入しないでください。
- 大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておいてください。ホースや本体内部に詰まる場合があります。
- 多量の粉、多量の砂・小石、針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなどは吸わせないでください。
- たたみ、水に弱い繊維（絹、アセテート、レーヨン、キュプラなど）、水に弱い製品（毛皮、皮革製品、和装品、漆器など）には使用しないでください。
- 水を入れた状態で本体を傾けたりしないでください。水漏れの原因となります。
- 洗剤を使用する場合は、発泡性の低い洗剤（9ページ参照）を20倍程度に希釈し、直接清掃面に塗布してご使用ください。（給水タンクには絶対に入れないでください）
- 洗剤を使用する場合は、事前に洗浄物に影響のないことを確認した上でご使用ください。
- 回収タンク内の泡立ちが多く、MAX線を超える場合は直ちに運転を停止し、汚水をこまめに捨ててください。
- フィルターを外したまま使用しないでください。

保護機能について

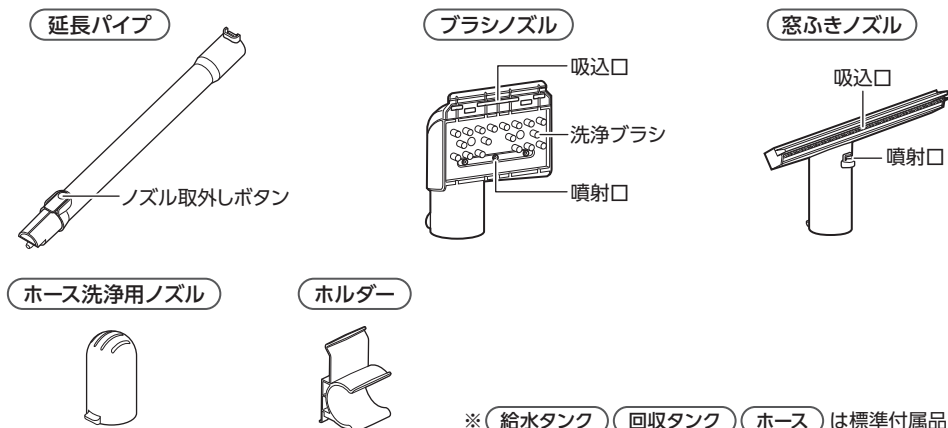
保護機能	保護内容
過熱保護機能	● 本体が熱くなりすぎると、過熱を防ぐために運転を停止する場合があります ➡電源プラグをコンセントから抜き、涼しい場所で1時間程度放置してからご使用ください。

各部のなまえ

本体



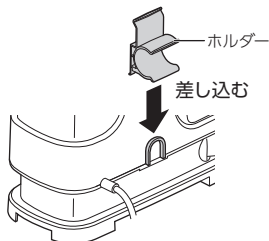
応用付属品



※ 給水タンク 回収タンク ホース は標準付属品です。

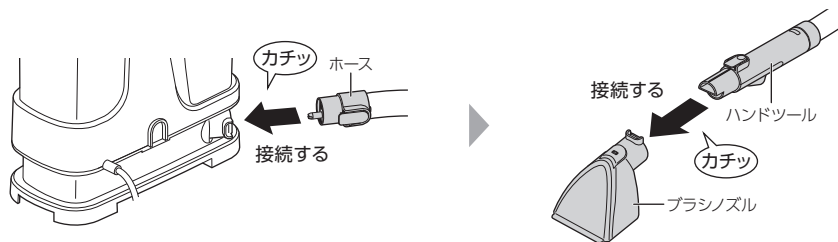
ご使用前の準備

1 本体にホルダーを取り付ける



2 本体にホースを取り付け、ハンドツールにノズルを取り付ける

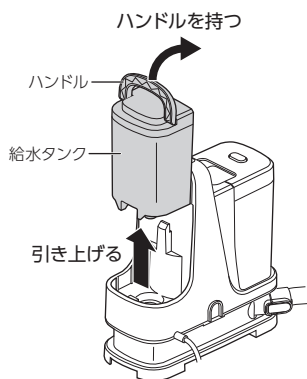
- “カチッ”と音が鳴るまで確実に差し込んでください。
- 取り外すときはホース取外しボタンまたはノズル取外しボタンを押しながら引き抜いてください。



3 給水タンクに水を入れる

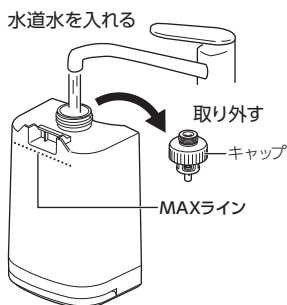
① 本体から給水タンクを取り外す

- ・ ハンドルを立て、上に引き上げてください。



② 給水タンクのキャップを外し、水道水を入れる

- ・ MAXライン以上入れないでください。

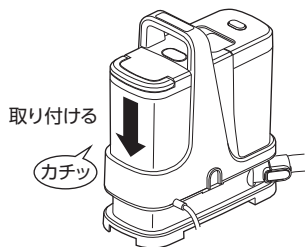


③ キャップを閉め、給水タンクを本体にセットする

- ・ 確実にセットされていることをご確認ください。

ご注意

- ・ 60℃より高温の水を入れないでください。
- ・ 洗剤など水以外のものを入れないでください。変形、故障の原因となります。



ご注意

- ・ 回収タンクが確実に取り付けられていることを確認してください。

使いかた

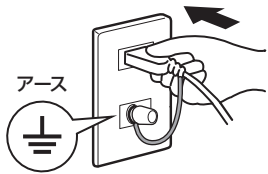
ご注意

- ・温水、スチームを使用する場合は、やけどにご注意ください。（ノズル連結部、噴射口には触らないでください）
- ・スチームモード時は洗剤を使用しないでください。

ブラシノズルを使ってカーペットなどをお掃除するとき

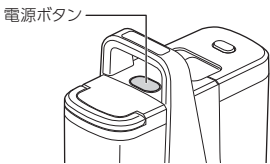
1 電源プラグをコンセントに差し込む

※ 漏電による感電防止のためアースを取り付けてください。



2 電源ボタンを押す

- 常温モードで運転を開始します。



3 運転モードを切り替える

- モード切替ボタンを押すたびに、運転モードが「常温」モード⇒「温水」モード⇒「スチーム」モード⇒「常温」モード…と切り替わり、運転中のモードランプが点灯または点滅します。
- モードランプが点滅中は運転準備中です。点灯に切り替わってからご使用ください。



運転モードについて

- お掃除する場所や汚れに合わせて運転モードを切り替えてご使用ください。

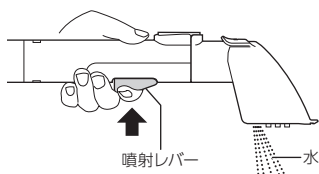
運転モード	常温モード	温水モード	スチームモード
運転モードランプ	 使用可能	 約30秒後(※) 温水準備中	 約40秒後(※) スチーム準備中
使用シーンの例	・汚れやこぼれたジュースなど ・カーテン、ぬいぐるみなどの布製品 ・ベビーカーなど	・皮脂汚れ ・油分（ソースなど）を含んだ汚れ ・靴（上履きなど）	・皮脂汚れ ・こびりついた油分（ソースなど）を含んだ汚れを浮かすとき ・ペット用品の汚れなど ・靴（上履きなど） ・においの気になる汚れ

※ 周辺温度や使用環境によって準備時間は変わります。

4

噴射レバーを押して水を散布する

- 汚れに水を散布し、汚れを浮き出させます。
- 同じ場所に連続して散布せず、散布後はすみやかに吸引してください。



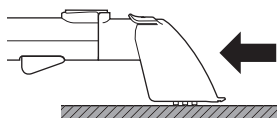
5

水分を吸い取る

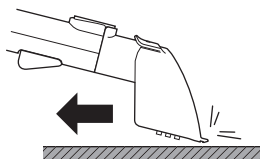
- ブラシノズルを軽く押しあてて吸引してください。
- ノズルは水平に押し当ててください (斜めにするとうまく吸引できません)



ノズル全体を軽く押し当て、
水平にゆっくり引く



ノズルの先端を押し付けたり、
擦り付けない

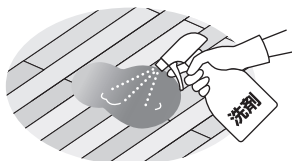


汚れがひどいとき

● 落ちにくい汚れや、染みついた汚れは、洗剤などで汚れを浮かしてから洗浄すると効果的です。
※ 洗剤を使用するときは、端の部分などで試してから、変色などの問題ないことを確認した上でご使用ください。



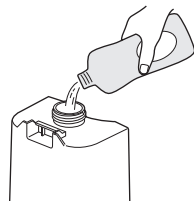
汚れに直接洗剤を
かけてください。



泡の多い洗剤は
使用できません。



専用洗剤以外は給水カップに
入れないでください。



適した洗剤

- ・アルカリ電解水
- ・重曹
- ・クエン酸
- ・次亜塩素酸水
- ・発泡性の低い洗浄剤など

使用できない洗剤

- ・台所用中性洗剤
- ・強アルカリ性洗剤
- ・強酸性洗剤

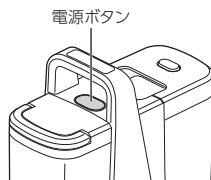
ご注意

- 洗剤はスプレーボトルなどに入れてご使用ください。
※ 給水タンクには入れないでください。
- 発泡性の高い洗剤は使用しないでください。泡がクリーナー内部に入り込み故障の原因となります。

使いかた(つづき)

6 運転を停止する

- 電源ボタンを押して運転を停止してください。
- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。



ご注意

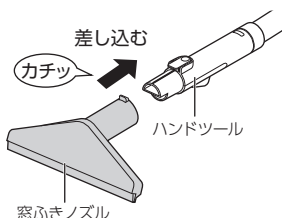
- 必ず電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- 使用後は、電源プラグを差し込んだまま放置しないでください。

窓ふきノズル・延長パイプの使いかた

1 窓ふきノズルを接続する

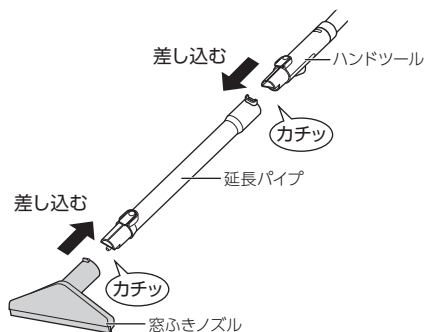
① 窓ふきノズルをハンドツールに接続する

※ カチッと音が鳴るまで確実に差し込んでください。



② 高い場所を掃除する場合はパイプを接続する

※ カチッと音が鳴るまで確実に差し込んでください。



2 電源プラグをコンセントに接続し、電源ボタンを押す

- 「使いかた (8ページ)」の手順**1**、**2**をご参照ください。

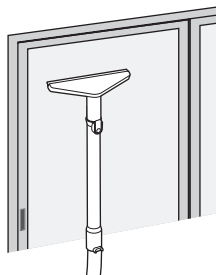
3 掃除を開始する

- 温水、スチームモードへの切り替えも可能です。
「使いかた (8ページ)」の**手順3**をご参照ください。
- ※ 温水、スチームモードで運転する際は、窓の耐久性をご確認ください。

4

噴射レバーを押してまどの掃除をする

- 「窓ふきノズルの上手な使いかた (12ページ)」 参照
- 掃除が終わったら運転を停止してください。



ご注意

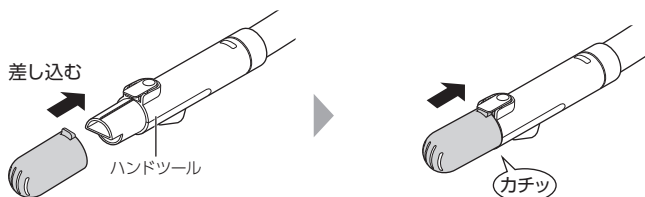
- 窓の周辺に物を置いたまま掃除すると、水が垂れて濡れるおそれがありますので、あらかじめ移動しておいてください。とくに電気製品などが水で濡れると感電・故障の原因となりますのでご注意ください。
- 冷えたガラス面にスチームを使用する際は、離れた位置からスチームを当ててください。ガラスの急激な温度変化による破損にご注意ください。
- ガラス面にスチームを使用する際は、長時間同じ場所にスチームを当て続けないようにしてください。

ホース洗浄用ノズルの使いかた

1

ホース洗浄用ノズルを接続する

- ホース洗浄用ノズルをハンドツールに接続してください。
- ※ 「カチッ」と音が鳴るまで確実に差し込んでください。



2

電源プラグをコンセントに接続し、電源ボタンを押す

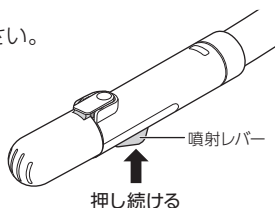
- 「使いかた (8ページ)」 の手順**1**、**2**をご参照ください。



3

掃除を開始する

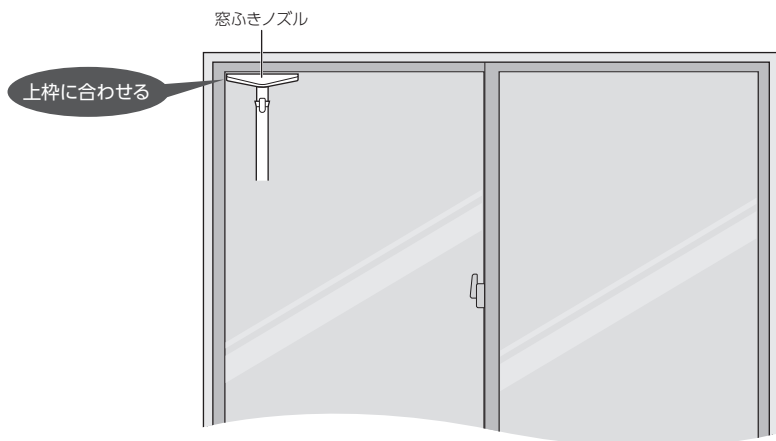
- 噴射レバーを押し続け、ホース内を洗浄してください。
- 掃除が終わったら運転を停止してください。



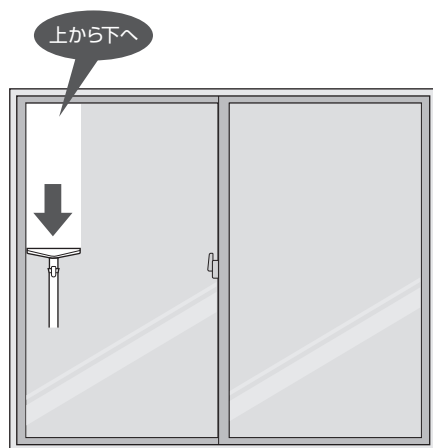
使いかた(つづき)

窓ふきノズルの上手な使いかた

- 1 窓ふきノズルを窓の一番上に合わせ、噴射レバーを押して水を散布する

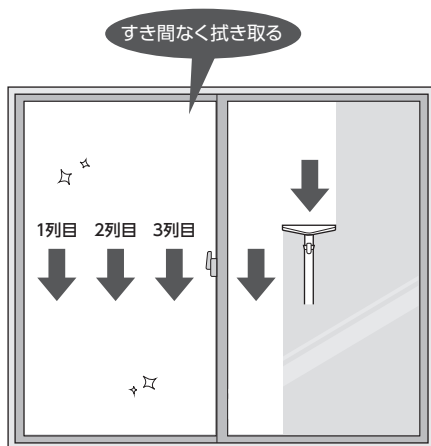


- 2 上から下に窓ふきノズルを引く



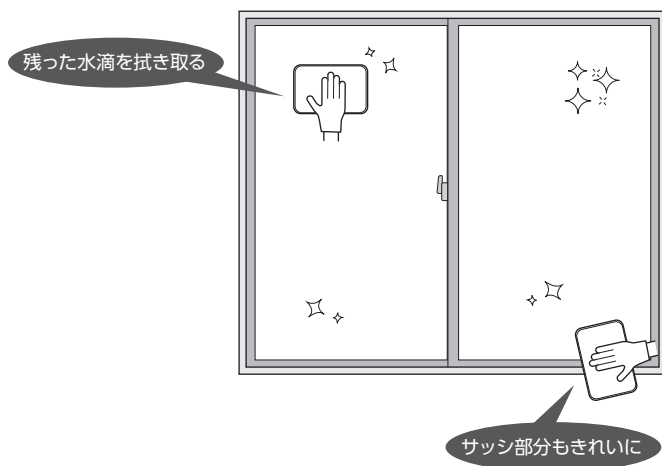
3 同じように2列目、3列目のお掃除を行う

- 汚れが気になるときは、噴射レバーを押して水を追加で散布してください。



4 掃除完了後、サッシ部分に水が落ちている場合は雑巾などで拭き取る

- 窓に残った水滴を拭き取っていただくと、さらにきれいに仕上がります。



水の捨てかた

お掃除が終わったら、必ず回収タンク・給水タンク・ポンプに残った水を捨ててください。

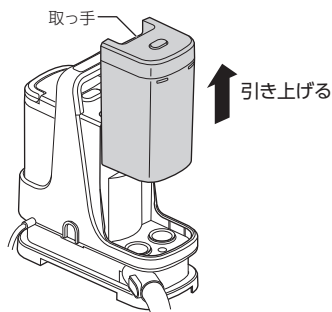
回収タンク

ご注意

- ・回収した水を捨てるときは、必ず運転を停止した状態で行ってください。
- ・回収タンクに溜まった水は掃除完了後毎回捨ててください。長時間放置すると、汚れの種類によっては異臭が発生する原因となります。
- ・回収タンクに水が溜まった状態で傾けないでください。回収した水が漏れる可能性があります。

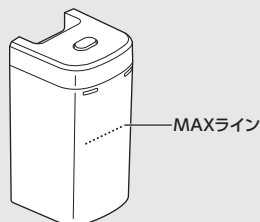
1 回収タンクを本体から取り外す

- 取っ手を持って、引き上げてください。



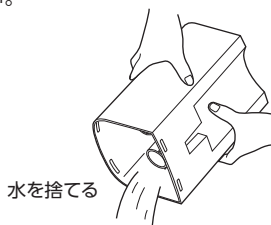
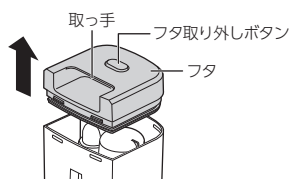
ご注意

- ・回収した水は、MAXラインを超える前に捨ててください。MAXラインを超えると水や汚れが吸引できなくなります。



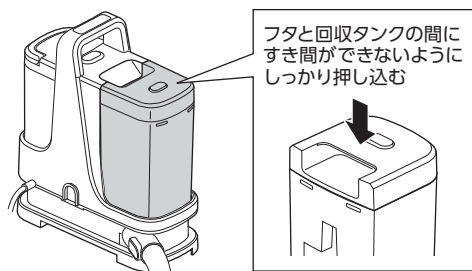
2 フタ取り外しボタンを押し、取っ手を持ってフタを取り外す

- 回収タンクに溜まった水を捨ててください。



3 フタを回収タンクに取り付け、回収タンクを本体にセットする

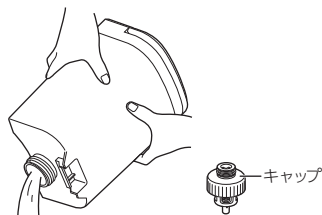
※ 回収タンクは、掃除が終わったあとに取り付ける前に必ずお手入れを行ってください。



給水タンク・ポンプ

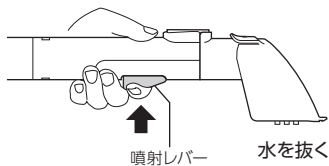
1 給水タンクを本体から取り外し、残った水を捨てる

- キャップを取り外して捨ててください。捨て終わったら確実に閉めてください。
- 給水タンクの取り外しは「**ご使用前の準備** (7ページ)」の手順**3**をご参照ください。

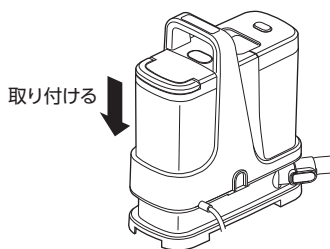


2 電源を入れ、噴射レバーを押して残った水を抜く

- 電源入状態となり、本体内部 (ポンプ) に残った水が空気を通して排水されます。
- ※ 給水タンクが空の状態、または給水タンクを本体から外した状態で行ってください。



3 給水タンクを本体にセットする



お手入れ

＊お手入れはこまめに行ってください。

⚠ 警告 ・お手入れを行うときは、必ず運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

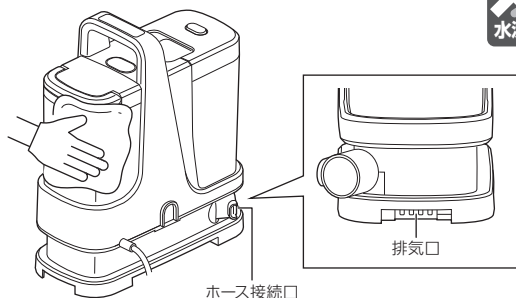
ご注意

・シンナー・ベンジン・アルコール・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。変質、変色の原因となります。

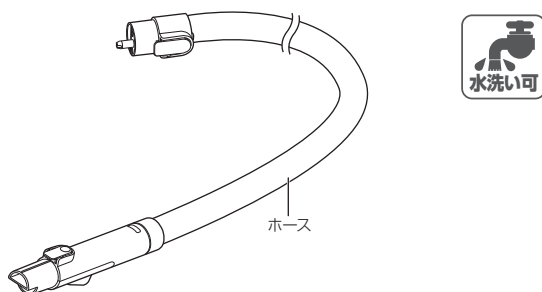
本体・ホース（お手入れの目安：汚れが気になったとき）

● ホースを本体から取り外す

- ① 本体の表面に付いた汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
- ② ホース接続口・排気口に付いた汚れを取り除いてください。

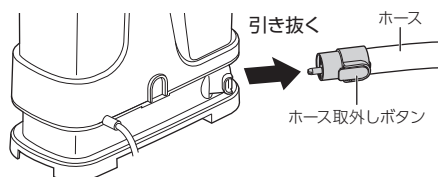


- ホースの表面についた汚れを拭き取る
- 汚れが取れない場合は水洗いをする



ホースの取り外しかた

- ・ホース取外しボタンを押しながら引き抜いてください。
- ※ホースを本体から取り外すと、ホース接続口から水が漏れることがあります但故障ではありません。水が漏れたときは拭き取ってください。



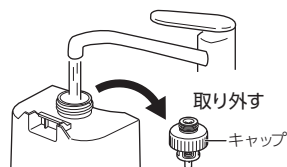
回収タンク・給水タンク（お手入れの目安：掃除完了後 毎回実施）

● 回収タンク・給水タンクの洗浄をする

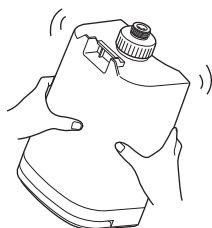
- ① 本体から回収タンクと給水タンクを取り外してください。
取り外しかた／取り付けかたは「水の捨てかた（14ページ）」をご参照ください。
- ② 回収タンクと給水タンクのフタ・キャップを取り外し、水で洗い流してください。



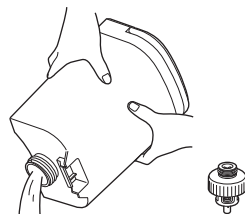
給水タンク



キャップを取り外し、
水道水を入れる

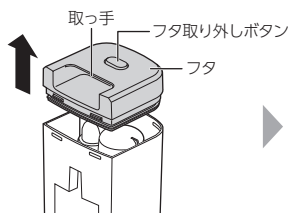


キャップを閉め、
給水タンクを左右に振って
ゆすぐ

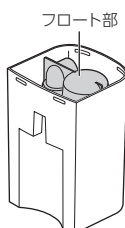


キャップを取り外し、
水を捨てる

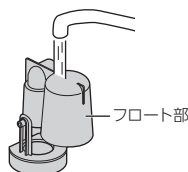
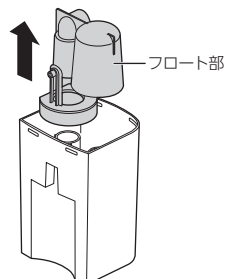
回収タンク



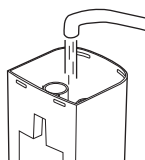
フタ取り外しボタンを押し、
取っ手を持ってフタを取り外す



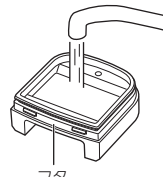
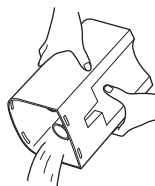
回収タンクからフロート部を取り外す
※フロート部は分解しないでください。



フロート部を水洗いする



回収タンク内を水道水ですすぎ、水を捨てる



フタを水洗いする

ご注意

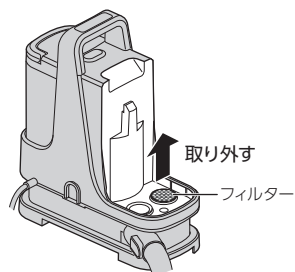
- ・水洗いしたあとは、水気をしっかりきり、風通しの良い場所で陰干して十分に乾かしてください。
- ・ドライヤーなどで乾燥しないでください。

お手入れ(つづき)

フィルター (お手入れの目安：汚れが気になったとき)

- フィルターにゴミが溜まっているときは、ゴミを取り除き水洗いをする

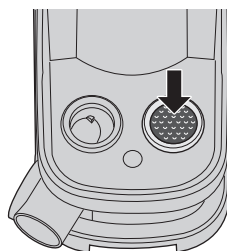
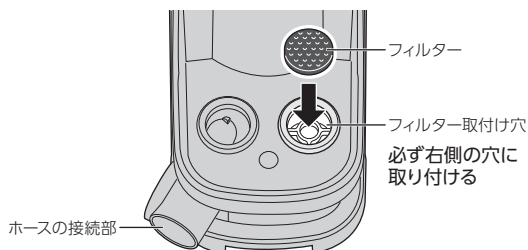
- ① 本体から回収タンクを取り外す。
取り外しかた / 取り付けかたは「水の捨てかた (14ページ)」をご参照ください。
- ② フィルターを取り外し、お手入れをする。



ゴミを取り除き水洗いする
※ フィルターをは破ったり、
傷つけたりしないでください。

フィルターの取り付けかた

- 落ちにくい汚れや、染みついた汚れは、洗浄剤などで汚れを浮かせてから洗浄すると効果的です。



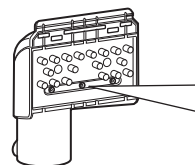
ご注意

- フィルターは必ず右側（ホースの接続部と反対側）の穴に取り付けてください。

ノズル類・パイプ（お手入れの目安：掃除完了後 毎回実施）

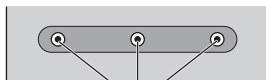
- ノズル類（ブラシノズル・窓ふきノズル・ホース洗浄用ノズル）とパイプの水洗いをする

ブラシノズル



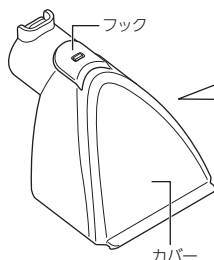
カバーを取り外し、
水洗いする

水の出が悪いときは、噴射口（3カ所）を、
使い古しの歯ブラシなどで軽くこすり、
詰まっている異物などを取り除く

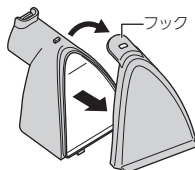


噴射口

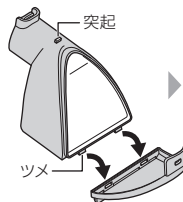
ブラシノズルのカバーの取り外し／取り付けかた



フックを外し、
カバーを取り外す

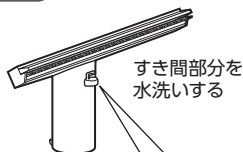


ツメ（2カ所）をカバーにはめ込み、
フックを突起に“カチッ”と鳴るまで閉める

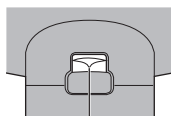


カチッ

窓ふきノズル

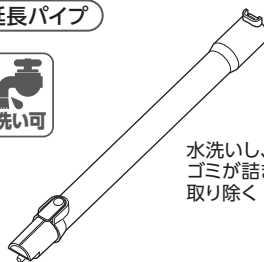


水の出が悪いときは、噴射口（1カ所）を、
使い古しの歯ブラシなどで軽くこすり、
詰まっている異物などを取り除く



噴射口

延長パイプ



水洗いし、
ゴミが詰まっている場合は
取り除く

ホース洗浄用ノズル



ホースのお手入れのあと
水洗いをする

ご注意

- ・ 水洗いしたあとは、水気をしっかりきり、風通しの良い場所で陰干して十分に乾かしてください。
- ・ ドライヤーなどで乾燥しないてください。

故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
運転しない または 運転中に止まる	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ➡ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。	8
	● 本体が異常に熱くなっていますか。 ➡ モーターが高温になると過熱を防ぐため、本体が自動的に停止することがあります。本体が冷めてから再び運転してください。	5
吸引しない または 吸引が弱い	● 電源は入っていますか。 ➡ 電源を入れてください。	8
	● 回収タンクは正しく取り付けられていますか。 ➡ 回収タンクを確実に取り付けてください。	14
	● 回収タンクの水がMAXラインに達していませんか。 ➡ 回収タンクの水を捨ててください。	14
	● ホースが詰まったり、つぶれたりしていませんか。 ➡ つぶれを直し、詰まっている場合はゴミを取り除いてください。	16
	● フィルターの取り付け場所を間違っていないか ➡ フィルターの取り付けかたを参照ください。	18
	● フィルターが汚れていたり詰まっていませんか。 ➡ フィルターのお手入れをしてください。	18
	● パッキンがちぎれたり破損していませんか。 ➡ 交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	21
	● ホースが破損していませんか。 ➡ 割れ、破れなどある場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	23
噴射しない	● 噴射口が詰まっていませんか。 ➡ 噴射口のお手入れを行ってください。	19
	● 給水タンクは正しく取り付けられていますか。 ➡ 給水タンクを確実に取り付けてください。	7
	● 給水タンクに水は入っていますか。 ➡ 給水タンクに水を入れてください。	7
	● ホースやノズルは正しく取り付けられていますか。 ➡ ホースやノズルを確実に取り付けてください。	7
	● 温水モード・スチームモードのランプが点滅していませんか。 ➡ モード切替後、温水モードでは約20秒、スチームモードでは約40秒間は運転準備（電熱装置の加熱）のため、噴射しません。点灯に切り替わってから噴射してください。	8

こんなとき	お調べいただくこと	参照 ページ
スチームが熱くない	● ホースやノズルは正しく取り付けられていますか。 ➡ ホースやノズルを確実に取り付けてください。	7
水漏れする	● 回収タンクや給水タンクは正しく組み立てられていますか。 ➡ フタやキャップなど確実に組み立ててください。	7・14 17~18
	● 回収タンクや給水タンクにヒビなど破損はありませんか。 ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	23
	● ホースを本体から取り外すと、本体側の接続口から水が流れることがありますのでご注意ください。 ➡ 故障ではありません。	16
	● ホース、各ノズル、ブラシノズルのカバーは正しく付けられていますか。 ➡ 確実に取り付けてください。	7・19
	● ホースが破れていませんか。 ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。	23
	● 回収タンクが確実にセットされていますか。 ➡ 回収タンクを上から押さえて確実にセットしてください。	14
吸引時に異常な音がする	● 回収タンクが確実にセットされていますか。 ➡ 回収タンクを上から押さえて確実にセットしてください。	14
初めて使用するときに 水が出る 水滴の跡がついている	● 工場での検査時の残水によるものです。 ➡ 故障や不良、使用済みではありません。	8

仕様

品番	AQC-CV1B	電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	1300 W	電熱装置の消費電力	900 W
吸込仕事率	40 W	回収タンク有効容量	約 0.7 L
給水タンク容量	約 1.0 L	ホース長さ	φ 30 mm × 1.6 m
お湯使用温度	約 60 ℃まで	騒音値	83 dB
コード長さ	4.5 m	質量	4.2 kg
外形寸法	幅 304 × 奥行 133 × 高さ 349 (mm) (本体のみ)		
標準付属品	給水タンク・回収タンク・ホース		
応用付属品	ブラシノズル・ホース洗浄用ノズル・ホルダー・窓ふきノズル・延長パイプ		

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間は お買い上げ日より1年間です。

修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、「故障かな?と思ったとき」→20ページに従って調べてください。直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

補修用性能部品の保有期間

カーペットクリーナーの補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年です。**

・補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談できない場合は、23ページの相談窓口にお問い合わせください。

長年ご使用のカーペットクリーナーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源ボタンを押しても運転しない。
- 電源プラグ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、ときどき止まる。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- 部品が破損している。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、すぐに運転を停止し、電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間：（365日） 9：00～18：30

総合相談窓口

固定電話からは  0120-880-292
携帯電話からは  0570-040-292（有料）

FAXでご相談される場合  0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間：月曜日～金曜日 9：00～18：30

土曜・日曜・祝日 9：00～17：30

修理相談窓口

固定電話からは  0120-778-292
携帯電話からは  0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。
なお、この目的のためにアクア 株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。
個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <https://aqua-has.com/privacy/> をご覧ください。

